

21世紀の日本のかたち（138）

2023年春、マスクをはずす？



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 顧問>

1. 新型コロナ、マスクをはずす？

新型コロナウイルス感染の爆発的拡大から3年、日本政府はこの3月13日から、マスク着用は個人の判断に任せると発表しました。

岸田首相も13日の国会の委員会で、マスクなしで答弁している姿がテレビで流れていました。私は外出時にはマスク着用ですが、街を歩き交う人々も10人に1人はマスクをはずしています。

大学の卒業式も4年ぶりに全員参加となりましたが、マスクをはずしての記念撮影が行われた様子が報じられています。学校では4月1日以降、基本的にマスク着用を求めないとしております。百貨店やスーパー、鉄道、劇場なども、マスク着用について個人の判断に任せるとしています。

政府は5月8日から、新型コロナウイルス感染について、感染法上の類型を季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げるとしております。

顔・人間の表情を隠してしまうマスク着用は、全く人間の非人間化にほかなりません。今年はやようやく、目元、口元のある表情のある人間に戻ることができそうです。

表1 新型コロナウイルス感染者

■新型コロナウイルス感染者（3月29日午前0時）					
国内の確認		3344万1444人(+8327)		重症 68人(+1)	
死者		7万3825人(+34)			
	感染者	死者		感染者	死者
北海道	1339970 (+439)	4554	滋賀	373433 (+52)	675
青森	279514 (+89)	645	京都	676818 (+150)	1654
岩手	234613 (+50)	616	大阪	2826992 (+492)	8473
宮城	537420 (+174)	955	兵庫	1466417 (+306)	3869
秋田	200191 (+56)	596	奈良	345842 (+66)	866
山形	226957 (+104)	360	和歌山	238960 (+101)	522
福島	404645 (+208)	848	鳥取	142068 (+80)	263
茨城	636781 (+154)	1291	島根	168429 (+66)	299
栃木	422374 (+133)	1070	岡山	490745 (+97)	853
群馬	440111 (+110)	1093	広島	801235 (+392)	1359
埼玉	1797234 (+384)	3956	山口	314131 (+97)	749
千葉	1462159 (+349)	3912	徳島	166720 (+52)	420
東京	4337711(+1002)	8055	香川	252504 (+66)	618
神奈川	2215129 (+468)	4295	愛媛	316309 (+61)	694
新潟	457096 (+289)	440	高知	169259 (+32)	597
富山	236714 (+71)	313	福岡	1584898 (+259)	3182
石川	278490 (+84)	509	佐賀	260884 (+41)	492
福井	199888 (+83)	196	長崎	336481 (+39)	645
山梨	190469 (+75)	412	熊本	534628 (+85)	1305
長野	459012 (+291)	870	大分	303230 (+76)	772
岐阜	541456 (+155)	1113	宮崎	319998 (+40)	776
静岡	866040 (+207)	1395	鹿児島	441893 (+115)	884
愛知	2107866 (+399)	4311	沖縄	577578 (+62)	1011
三重	460003 (+126)	1042	その他	24774	21
総数 3346万6218人(+8337)		死者 7万3846人(+34)			
カッコ内は前日との比較。厚生労働省の集計をもとにしており、自治体の発表と異なる場合がある。「その他」は空港検査やダイヤモンド・プリンセス乗船者など					
■ワクチン接種（29日、政府の発表から）					
1回目	81.2%		4回目		5回目
2回目	80.2%	総接種数 (接種率)	5833万5988	(—)	3040万9865
3回目	68.6%				

資料：朝日新聞 2023年3月30日

2. 東日本大震災12年

「平成23（2011）年3月11日、東日本の太平洋沿岸部の平和な集落、都市を壊滅させた、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震（M9.0）の経過を重苦しい気持ちで見守り続けています。

生命、財産、住居を包む一切の生活手段、環境を、巨大な津波は一瞬にして破壊し、押

し流してしまいました。そしてこの地域の生産手段である漁場、農場、工場などを無残に破壊してしまいました。地域社会に張られていた生命の網が目前でずたずたに引き裂かれたのです。」(R39、2011.03.20)

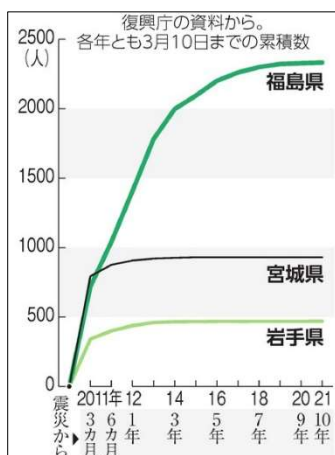
「福島県は地震・津波による災害に併せ、東京電力福島第一原子力発電所、原子炉の爆発、燃料棒のメルトダウンによる原発災により、放射性物質が広範囲に飛散し、森林や農地、海、そして人間の居住地に降り注ぎ、人間の住めない大地を作り出しました。」(R97、2016.06.25)

写真1 海に向かって黙とうをささげる人々
岩手県陸前高田市



資料：読売新聞 2023年3月12日

図1 東日本大震災で
災害関連死と認められた死者数



資料：読売新聞 2023年3月12日

表2 東日本大震災 規模と被害

発生	2011年3月11日 午後2時46分	
震源地	三陸沖、深さ24* ₀	
規模	マグニチュード9.0	
最大震度	7(宮城県栗原市)	
津波浸水域	6県、約535平方* ₀	
死者	1万5900人	
	岩手県	4675人
	宮城県	9544人
	福島県	1614人
	その他9都道県	67人
行方不明者	2523人	
	岩手県	1110人
	宮城県	1213人
	福島県	196人
	その他3県	4人
震災関連死	3792人(6人増)	
	岩手県	470人
	宮城県	931人
	福島県	2335人
	その他7都県	56人
住宅の全半壊	約40万5000戸	
避難者	3万884人(7255人減) ※最大約47万人	
警察庁、各県などのデータから。 カッコ内の人数はこの1年での増減		

資料：読売新聞 2023年3月12日

今年、2023年3月11日は、福島県原発を含む東日本大震災から12年、干支が一巡した日になります。

東日本大震災から12年を経た現在の岩手、宮城、福島の復興状況として、防災対策、防潮堤の建設、土木事業、産業（農・漁・工）は、相当に進展しました。ただ、住宅地造成は当初の計画ほど人が戻らず、やや過剰の様子です。

3県では少子化が沿岸部で加速しています。災害公営住宅では住人の高齢化率が44%になっていると報じられています。世帯が「解体」され、出生率の低下も伝えられています。

福島県では現在も7市町村で原発事故の避難指示が出たままであり、避難者がほぼ3万

人と報告されています。

岸田首相は昨年末、原発を最大限活用すると明言しています。

「原発回帰なんてばかげている、また事故が起きましたでは済まされない」（フクシマ住人の声）

原発災により、今なお3万人の人々が避難している現実から目をそらす事はできないと思うのです。

3. 日韓関係正常化への動き

2019年7月以来、徴用工問題で悪化した日本と韓国の関係が、この3月6日、韓国尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領の決断で、正常化へと動き出しました。

徴用工問題は、韓国が徴用工への賠償を肩代わりし、対して日本はおわびを継承して呼応することで解決したと報じられました。

韓国から日本に徴用された徴用工（226,000人）に関し、2018年秋、韓国大統領大法院（最高裁）は、不法な植民地支配下での反人道的な違法行為だとし、日本企業に賠償を命じる判決を下しました。

この問題に対し、日本政府は1965年の日韓

請求権協定で解決済みとしておりました。

韓国の前文在寅（ムン・ジェイン）政権は、被害者中心主義の立場に立ち、日韓関係は冷え込むことになりました。

今度、尹韓国大統領は、日韓交流の妨げとなっている徴用工問題の解決に道筋をつけて、3月16日に来日しました。シャトル外交（相互訪問）の再開、日韓の新たな協力を築く一歩にと、岸田文雄首相と固く握手を交わしておりました。

日韓には目前に多くの共通課題があります。北朝鮮のミサイル、台湾を取り巻く不測の事態に対する備え、日米韓の協力の再構築、少子高齢化、社会に広がる格差問題、新たな関係の構築・交流を進めるべしです。

4. ウクライナ、ロシア侵攻1年

今年2月24日、ロシアのウクライナへの侵攻が始まって1年になります。いまだ収束の気配なく、膠着状態が続いています。

この状況の中、日本の岸田文雄首相が3月21日、ウクライナ・キーウを電撃的に訪れ、ゼレンスキー大統領と対面、対談したことが報じられました。

写真2 握手をする

韓国の尹錫悦大統領と岸田文雄首相



資料：朝日新聞 2023年3月17日

写真3 握手をする

岸田文雄首相とゼレンスキー大統領



資料：朝日新聞 2023年3月22日

これによって西側主要7ヶ国（米、英、ドイツ、カナダ、フランス、イタリア、そして日本）の首脳が、ウクライナでゼレンスキー大統領と直接対面したことになります。今回の岸田首相のウクライナ訪問は、アジアの指導者としては初めてのことです。

岸田首相：「ロシアのウクライナ侵略は、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙。・・・日本のゆるぎない連帯をお伝えしたい。・・・唯一の戦争被爆国として、ロシアの核兵器による威嚇は受け入れられない。」

岸田首相は、日本側として切れ目なくウクライナを支援していくとし、当面、ウクライナへ40億円の装備品の供与、エネルギー関連に622億円の支援を表明しました。これに重ねて、5月のG7広島サミットの議長国として、ウクライナ支援、国際秩序の維持を述べておりました。

ゼレンスキー大統領：「日本の支援に感謝。・・・ロシアは直ちに敵対行為を停止し、ウクライナ全土から全ての軍および装備を即時かつ無条件に撤退させなければならない」

両首脳が握手を交わして対話した様子が伝えられています。

岸田首相のウクライナ訪問と重なるように、3月20日、中国の習近平国家主席がクレムリンを訪れ、ロシア・プーチン大統領と握手して会談している様子が伝えられました。

「対話がウクライナ危機の解決のための最善の道」と共同声明を出しましたが、ロシア軍撤退には触れておらず、その道筋は不明です。

ロシアのウクライナ侵攻から1年1ヶ月、400日が過ぎ、春になりました。戦局はどのように動くのか。

写真4 プーチン大統領と習近平国家主席



資料：朝日新聞 2023年3月22日

5. WBC・2023、日本優勝

この春、日本チームが出場したWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）のTV観戦は40%台とか。私もほぼ全試合をテレビ観戦しました。侍ジャパンは日本の東京ドームで行われた4試合に全勝。アメリカ、マイアミのローンデポ・パークで行われた3試合にも勝ち切って、念願の優勝を果たしました。栗山英樹監督（61）のまとめた日本チームの軟らかい結束力での勝利でした。

準決勝、対メキシコ戦は、3点ビハインド、7回2死の侍ジャパンの4番、吉田正尚の本塁打一発で同点とし、チームの気分を変えたシーンを覚えています。この試合を6対5で競り勝ちました。

決勝戦は大リーガーを揃えた本場アメリカチーム。日本チームは村上、岡本の豪打共演、最後はダルビッシュ有、大谷翔平で、3対2で大リーガーを揃えた前回優勝のアメリカチームを抑えて優勝をものにしました。

今回のWBCに対するチーム「侍ジャパン」には、それぞれが力のある個性的な選手たち個々の柔らかいつながりがありました。主将を置かない「侍ジャパン」、選手を信用する栗山監督のゲームの見守り、大リーガー、大谷、ダルビッシュ、ラーズ・ヌートバーの立

居振舞、切れ目々に「胡椒」を廻す選手達の仕草。WBCの優勝に立ち向かう「侍ジャパン」のベンチの景色もひとつの見ものであります。そして3年後のWBCに思いを託して、各国の選手たちは散って行きました。

写真5 WBC、選手達と栗山監督



資料：朝日新聞 2023年3月23日

戦後の日本は、1945（昭和20）年8月、ヒロシマ、ナガサキへのアメリカ軍の原爆投下によって壊滅し、そこからの出発でした。

大江さんは「ヒロシマ・ノート」[※]で、狂気の種子が胚するところに生き続けていると、原爆投下の非を強く告発しました。また、戦後日本の存立基盤をなす憲法9条を守る「九条の会」を加藤周一氏他とつくって、積極的に行動していました。

2013年には、東日本大震災と原発事故についての小説「晩年様式集」も発表しています。

大江さんは、四国・愛媛県大瀬村（現内子町）出身。大家となってもなにか素朴さを感じさせます。

同世代の一人として心からの冥福を祈ります。

※ 岩波新書、1965年6月

6. 大江健三郎（88）さん訃報

この3月3日、昭和9年生まれ、ノーベル文学賞作家、大江健三郎氏の訃報がありました。

2023.03.30

戦後の日本において「反戦・平和」を芯に行動した昭和ひと桁、同世代の作家が去ったことに感慨を覚えます。

写真6 大江健三郎さん（88）死去 （写真は2012年撮影）



資料：www.asahi.com 2023年3月14日